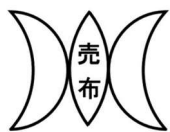


学校通信 売布小だより



和と力

6月号

売布小学校
ホームページ



令和8年(2026年)5月29日

宝塚市立売布小学校

校長 安藤 いずみ

2026年度 売布小学校運動会スローガン

心ひとつに 頂点めざして つきすすめ!

運動会

今年も運動会が近づいてまいりました。子どもたちは来週末の6月6日(土)に予定されている本番に向けて、暑さ対策をしながら毎日練習に励んでいます。職員室にも元気な声が聞こえてきて、子どもたちが一生懸命、集中して練習している雰囲気が伝わってきます。本番には保護者やご家族、地域の皆さまの応援の力をいただいて、子どもたちは嬉しく、精一杯の演技ができることと思います。

プログラムの1番は、ラジオ体操です。「私が小学生の頃にもラジオ体操をやっていたなあ」、思って、調べてみますと、なんと始まりは1925年アメリカで、保険会社が加入者の健康増進のために実施したことだそうです。その後、日本でも1928年から始まり、戦後の一時中断、その後の改良を経て、今のラジオ体操は1951年から続いているということです。そんなに長く続くには、相応の理由があり、良いものは続くのだなと思います。

長く続くもの、新しいものという点では、1、3年生は最新の曲、2年生はドラえもん、4年生、5年生はそれぞれ「南中ソーラン」、「ミルクムナリ」という伝統的な音楽を現代風にアレンジされた曲に合わせて踊ります。6年生は小学校の最高学年として、現代的なダンスと伝統的な集団演技を披露します。体育ばかりでなく、すべての学びにおいて、古くてよいもの、新しくよいもの、それぞれの良さを感じ、取り入れながら、子どもたちが力をつけて成長してくれることを願っています。

運動会の練習が続いている毎日ですが、「表現」にしても「走競技」にしても、人と比べるのではなく「昨日の自分より今日の自分が少しでも成長していれば、それで十分だ」という言葉に共感します。これは、日本人初のアメリカ野球殿堂入りとなったイチローこと鈴木一朗氏の言葉だそうです。あれほどの偉業を成し遂げた方でも、毎日の少しの成長を意識していたのだと思うと、感慨深いです。表現や走ることが苦手な子どもたちもいると思います。そんな子どもたちにも、練習を重ねることによって、「昨日の自分にできなかった表現ができた」「昨日より少しだけ早く走れるようになった」と言えるようになってほしいです。ただ、一人ではなく、集団として練習をしていることで、上手な友だちのまねをしたり、教えたり、教えてもらったり、みんなで表現のポーズがそろった時気持ちよかったり、他学年の演技に心を動かされたり、という集団でしか学べないこともたくさん学んでいると思います。運動会を通して、そんな大事なことも学んでほしいと願っています。

今年度も3学年ずつ2部制での開催となります。前半と後半の間には会場内での入れ替えを実施しますので、皆様にはお手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。詳細につきましては、「すぐる」および当日の放送でお知らせしますので、よろしくお願いします。